ツーリングモニタ取付説明書

TMAX編

目次

１．同梱物の確認　・・・・・・・・・・・・・・・　２
２．取付けに必要なもの　・・・・・・・・・・・・　２
３．取付けに関して　・・・・・・・・・・・・・・　２
４．外装部品の取外し　・・・・・・・・・・・・・　３
５．回路部本体の取付け　・・・・・・・・・・・・　９
６．表示器の取付け　・・・・・・・・・・・・・・　１０
７．温度センサーの取付け　・・・・・・・・・・・　１１
８．電源コードの取付け　・・・・・・・・・・・・　１２
９．アースコードの取付け　・・・・・・・・・・・　１２
１０．エンジン点火信号コードの取付け　・・・・・　１３
１１．ウインカー信号コードの取付け　・・・・・・　１４
１２．スピードパルス信号コードの取付け　・・・・・　１４
１３．モード切替コードの取付け　・・・・・・・・　１５
１４．ヘッドライトコントロールコードの取付け　・・　１６
１５．コントラストの調整　・・・・・・・・・・・　２０
１６．完成した様子　・・・・・・・・・・・・・・　２０

山形 紀樹

1. 同梱物の確認

送られてきたものに不足がないか確認してください。
不足がありましたら恐れ入りますがメールにてご連絡ください。

①ツーリングモニタ本体基板（ボックス入り）
②表示部（ケーブル付き）
③温度センサ（ケーブル付き）
④コード1（赤・黒）
⑤コード2（黄・青・白・茶・緑）
⑥コード3　ヘッドライトコントロール・4Pコネクタ付き（桃・水色）
⑦コード4　ヘッドライトコントロール非常点灯スイッチ（桃・水色）
⑧コードを挟んで接続する部品　エンジン点火信号用1個
⑨端子用絶縁カバー　モードスイッチ接続端子用1個
⑩本体取付用金具
⑪結束バンド3本　コードを束ねるときに使用してください。
⑫ツーリングモニタ取扱説明書
⑬ツーリングモニタ取付説明書（この紙）
⑭配線加工場所図(回路図)

2. 取付けに必要なもの

①両面テープ
本体と表示部の取付に使用。なるべく強力、かつ、跡が残らないもの。
②結束バンド　少々
配線を束ねるのに使用。
③工具
外装部品を取外すために一般的な工具が必要。
④その他
表示器をメータ上部に付ける場合は1mm厚程度のアルミ板が必要。

3. 取付けに関して

1. ヘッドライトコントロールとウインカーブザーはお好みによって、機能させないこともできます。
その場合はそれぞれのコードを接続せず、絶縁して束ねておいてください。
2. モード切替スイッチはセルスタータスイッチと兼用させないこともできます。
その場合はアースに落ちるスイッチを取付け、これに緑のコード接続してください。
この場合、茶色のコードは接続不要です。

4．外装部品の取外し

①フロントカウリングアッパーカバーの取外し

① フロントカウリングアッパーカバーをとめている写真のネジ左右2本を六角レンチで取外します。

② バックミラーブーツをめくり内部にある10mmナット2本を取外し、バックミラーを取外します。左右のバックミラーを取外してください。

③ フロントカウリングアッパーカバーの爪がフロントカウリングに刺さっていますので、上部を上に引き上げるようにしてはずします。

④ フロントカウリングアッパーカバーの下部は左右ヘッドライトの中央でグロメット止めになっているのでこれを引き抜きます。これで、フロントカウリングアッパーカバーを外すことができます。

②ウインドシールドの取外し

① バックミラー取付部の上にあるウインドシールド取付パネルのネジ左右2本を外します。
ウインドシールドは取付パネルにプラスチックネジで固定されていますが、シールドをパネルから外さなくてもパネルごと外した方が簡単です。

② バックミラー取付部の下にあるウインドシールド取付パネルを止めているネジ左右2本を外します。

③ 下部のネジを外します。

④ 取外すときに多少バックミラー取付部に干渉しますが、少し押しながら引き上げると外すことができます。

③ハンドルカバーの取外し

① ハンドルカバー下側にあるネジ左右2本を六角レンチで外します。

② ハンドルカバーのグリップ近くの下側にある左右のネジ2本を六角レンチで外します。

③ これでハンドルカバーを上下に分解することができます。ツメが結構きつく入っているので、ツメを折らないように注意してください。

④ このように外れます。

④フロントカウリングの取外し

① ここからのフロントカウリング取外しの作業はヘッドライト非常点灯スイッチをフロント小物入れ内に取付ける場合に必要になります。
ヘッドライト非常点灯スイッチを取付けない場合はこの作業は必要ありませんのでご注意ください。
まず、サイドパネルを取外します。ステップボードのゴムカバーを外すと現れる、サイドパネルを止めている写真のネジとその下方にあるネジ計2本のネジを取外します。右側も同様に取外します。

② サイドパネル表側前部のネジ上下2本を取外します。右側も同様に取外します。

③ サイドパネルの下側を写真のように手前に引くとサイドパネルがはずれます。

④ サイドパネルを外すと、下にフロントカウリングを止めているネジが現れますので、これを外します。左右2本あります。

⑤　次に写真のフロントカウリングを裏から止めているネジ上下2本を取外します。右側も同様に取外します。

⑥　写真のメーター裏側の横にフロントカウリングを止めているネジがあるので左右2本を取外します。

⑦　写真の位置の10mmボルトを左右2本外します。

⑧　ヘッドライト上部の10mmボルトを左右2本取外します。

⑨　ヘッドライト中央にあるボルトを外します。

⑩　フロントカウリング裏側、ヘッドライトの下にプラスネジがあるので左右2本を外します。

⑪　ヘッドライトの上部にヘッドライト用カプラがあるので、緑色と茶色の2個を外します。

⑫　これでフロントカウリングが取外せます。特にきついことはないのですが、大きな部品なので傷を付けないように注意して取外してください。フロントカウリングを取外すと、フロント小物入れに加工ができるようになります。

5．回路部本体の取付け

① エアクリーナー上部の向かって右側奥にあるパイプをとめている10mmのネジを外し、このネジに回路部本体の取付金具を取付けます。

② 回路部本体取付金具を取付けます。金具の下部がエアクリーナーボックスに少し当たる程度の角度に調節し、金具下部に両面テープを貼り動かないように固定しておきます。

③ 回路部本体取付金具に回路部本体のボックスを両面テープで固定します。コードの出る方を下向きにする方がいいでしょう。
本体回路部のボックスは他の場所でもかまいません。この場合工夫して取付けてください。

6．表示器の取付け

① ここでは標準的な取付位置としてメーターパネル右側下部に両面テープを使用して取付ける場合を説明します。
表示器のコネクターをメーターパネル下のスリットを通し回路部本体付近に持ってきます。
もちろん、見やすい場所であればどこに取付けても問題ありませんので、工夫してみてください。メーターパネル上のバイザー上部に取付ける場合はL型に折った金具などを自作するとうまく取付けられます。ホームページのマジェスティの写真を参照してください。

② 取付完了するとこんな具合になります。

{ご注意}
表示器のコネクターを基板に取付ける場合は、向きに注意し、しっかり奥まで差込んでください。はずす場合は、コネクターが非常にきつい上にコードが細いので、小さなドライバーなどでコネクターの両脇をこじって出すようにし、コードに無理な力がかからないようにしてください。くれぐれも、コードを持って引っ張らないようにお願いします。

7．温度計センサーの取付け

① 気温用温度センサーは完全防水であるので、どこに取付けても支障ありませんが、直射日光の当たらない風通しのよいところに取付けてください。ラジエターの熱気も影響するので、なるべく前方のフロントカウリングの下あたりが適当です。
フロントカウリング下部に取付ける場合は、写真のようにヘッドライト裏の隙間に温度センサーコードを通しセンサーをカウリング下に持って行きます。

② フロントカウリング裏のヘッドライトの下辺りに結束バンドで取付けます。写真はここにちょうど取付によいステーがあったので、そこにつけた様子です。

③ 温度計センサーケーブルはヘッドライトケーブルの留め具に挟んでおき、始末しておきます。

8．電源コード（赤）の取付け

回路図の番号①

① 電源コード（赤）はメインスイッチをオンにしたときに＋１２Ｖになるコードに接続します。
メーターパネル裏側からとるのが一番手軽だと思いますので、その場合の説明します。
メーターパネル裏側の正面から見て左側の写真の場所に（ドライバーが刺さっているところ）茶色のコードがきていますが、これが電源コードです。このネジを緩め、ツーリングモニターの電源コード（赤）のＹ端子を共締めします。
取付の際、ヒューズを付けておくとなお安心です。つけないで、過電流が流れた場合はTMAXのシグナル系のヒューズが切れます。

② 取付けるとこんな具合になります。
作業は必ずメインスイッチを切った状態で行ってください。

｛ご注意｝
このネジは強くしめるとバカになりやすいので、適度な力で締めてください。

9．アースコード（黒）の取付け

回路図の番号②

① アースコード（黒）も例としてメーターパネル裏側からとる場合を説明します。
メーターパネル裏側の正面から見て左端の写真の場所に（ドライバーが刺さっているところ）黒色のコードがきていますが、これがアースコードです。このネジを緩め、ツーリングモニターのアースコード（黒）のＹ端子を共締めしてください。

１０．エンジン点火信号コード（黄）の取付け

回路図の番号③

① イグナイターユニットから立ち上がったコードの束を覆っている黒いビニールカバーをはがすと（場所は右バックミラー(正面から見て向かって左側）の取付け部の付け根）、その中にあるオレンジ色のコードが点火コイル一次側へいっているコードです。このコードへツーリングモニタのエンジン点火信号コード（黄）を接続します。写真ではオレンジのコードの被覆をはがしエンジン点火信号コードをはんだ付けしていますが、付属のコードを挟み込んで接続する部品を使用してください。

② 確実に結線したら、ビニールテープを巻いて仕上げます。できれば、湿気などを防ぐために自己融着テープで巻く方がより望ましいです。このコードは点火コイルの一次側にいっているので、湿気や埃でリークなどがあると最悪エンジンがかからなくなる可能性があります。

③ 黒いビニールカバーを元に戻し、ビニールテープで巻きます。ビニールテープは普通の絶縁テープでもかまいませんが、自動車用品店で販売している粘着力の少し弱いものがより本物らしくなります。

11. ウインカー信号コード（青）の取付け

回路図の番号④

① ハンドル付け根部分にある黒いカプラーの濃緑、茶に白線、濃茶の3本並んでいる内の真ん中にある茶色に白線の入ったコードがウインカー信号のコードです（写真矢印部分）。この部分とウインカー信号コード（青）を接続します。

② ウインカー信号コード（青）をハンドルポストの隙間からハンドル側に通し、ウインカー信号コードに付いている平端子を①で説明した場所に写真のように突っ込みます。通常これで抜けないと思いますが、心配な場合はテープや結束バンドで他のコードに固定しておきます。

12. スピードパルス信号コード（白）の取付け

回路図の番号⑤

① メーターパネル裏側の中央付近に黄色に赤線のコードがきていますが、これがスピードパルスのコードです。このネジを緩め、ツーリングモニターのスピードパルス信号コード（白）のY端子を共締めします。

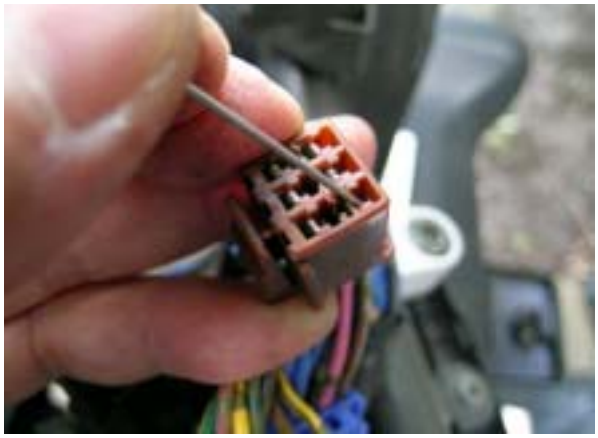
13．モード切替コード（茶・緑）の取付け

回路図の番号⑥

① モード切替スイッチはセルスターターボタンを兼用します。ハンドルカバーを外した内部に茶色のカプラーがあり、その中の青に白線のコードがセルスターターのコードです。このコードを切り離した間にモード切替スイッチのコードを割り込ませるわけです。

{ご注意}
モード切替コードには極性があり、茶色のコードを車体からくる方に、緑のコードをハンドル側に接続してください。間違えるとセルモーターも回らなくなります。

② 茶色のカプラーを外し、1mm程度の金属棒を写真の位置に差し込むと端子が抜けます。



③ 反対側のカプラーからも端子を引き抜きます。ここでは、精密ドライバーを使っています。

④ モード切替コードの茶色をハンドルポスト部隙間から上に引き出し、取付けてある細い平端子メスを車体からきている青に白線のコードに差し込みます。このとき端子にカバーを取付けて絶縁を忘れないようにしてください。同様にモード切替コードの緑色をハンドルポスト部隙間から上に引き出し、取付けてある細い平端子オスを、先ほどカプラーから取外した、ハンドルスイッチからきている青に白線のコードに差し込みます。端子の金属部分が露出している場合は絶縁テープで巻いてください。

１４．ヘッドライトコントロールコード（桃・水色）の取付け

回路図の番号⑦

① ヘッドライトコントロールの配線はやや複雑ですが、このセットは接続部品付きですのでコネクタを差し替えるだけで完了し、非常に簡単になりました。
メーターパネルの下側に2個リレーが見えます。マニュアルでは向かって右側がヘッドライトリレーとなっているのですが、私のTMAXは左側でした。もう一つはサイドスタンドリレーなのですが、コードの色が両方ともよく似ています。アースの黒いコードがある方がヘッドライトリレーですので間違えないようにしてください。
ゴムでステーに取付けてあるので、上に引き抜いて外します。

② 写真はヘッドライトリレーをソケットから外し、コネクター側から見たところです。

③ 付属のコード3・ヘッドライトコントロール4Pコネクタ付のメス側にヘッドライトリレー差し込んでください。

④ 反対側のオス側にヘッドライトリレーに接続されていたコネクタを差し込めば結線は完了です。
ヘッドライトリレーを元のように取付金具へ差し込みます。

⑤　ここからはヘッドライトコントロール非常点灯用スイッチの取付け方法の説明です。仮にヘッドライトコントロールが故障した場合、このスイッチをオンにすることによりヘッドライトが標準の仕様と同じ点灯状態になります。車検時にも配線を戻すことなく、スイッチを入れるだけで対応できます。私は、フロント小物入れ内部にプッシュスイッチを付けていますので、その説明をします。
　フロント小物入れの外側から約１３mmの穴を開けます。

⑥　付属のヘッドライトコントロール非常点灯スイッチの取付ナットを外し内側からコードを通して写真のように取付けます。取付けたら、黒色２Ｐコネクタを先ほどヘッドライトリレーを取付けたコード3から出ている黒色２Ｐコネクタに差し込んでください。

１５．コントラストの調整

電源･アースの２Ｐコネクター、各信号線の６Ｐコネクター、ヘッドライトコントロールの２Ｐコネクター、温度センサーの３Ｐコネクター、ヘッドライトコントロール非常点灯スイッチ２Ｐコネクタ、そして、表示器の１０Ｐコネクターを接続し、もう一度配線をチェックしてから電源を入れてください。配線が正常に結線されていれば、メッセージの後ツーリングモニターの画面が現れると思います。

コントラストは出荷前に調整していますが、見にくい場合は基板の中にある半固定抵抗(写真の矢印)を小さいドライバーでまわして調整してください。

１６．完成した様子

回路部本体にふたをし、コードを束ねると、写真のようになります。(アラームイモビライザーを付けているのでやや配線が込み入っています)

本体ボックスと本体取付金具を結束バンドで留めておくと、なお安心です。

このまま安全なところで少し走り、エンジン回転数、トリップメータ、ギアレシオ、加速度などの動きを確認してください。もしうまく動かない場合はもう一度配線を確認してください。確認後、外装部品を元の通り取付けて完了です。

取付けに関しわからないところがありましたら
norikey@hotmail.com
までご連絡ください。